

事業報告書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

公益財団法人 藤原ナチュラルヒストリー振興財団

公益財団法人藤原ナチュラルヒストリー振興財団

平成29年度 事業報告

I. 事業の状況

1. ナチュラルヒストリーの学術研究に対する助成(定款第4条第1項第1号)【公1】

ナチュラルヒストリーの分野を動物・非動物に分け、今年度は日本国内の大学、研究施設に勤務するか、又は日本国内に居住する非動物分野の研究を行っている個人又はグループに対し、研究に必要な資金を助成する。

・平成30年2月6日開催の理事会に於いて、植物学75名、地学57名、合計132名の申請の中から、2回の選考委員会によって選ばれた30名(植物学16名・地学14名)、総額1500万円(植物学841.7万円、地学658.3万円)を平成29年度の学術研究助成者として承認した。

尚、当年度は辞退者はなく、承認された合計30名に総額1500万円の助成金を贈呈した。

(助成者一覧:別表1参照)

2. 初等中等教育機関におけるナチュラルヒストリーの学習支援、並びに教員の研究活動に必要な実験器材や教材等への補助(定款第4条第1項第2号)【公1】

平成29年度は、初等中等教育機関の中で、特に高等学校における生物の授業に必要な備品の購入等への補助を、日本国内の高等学校、並びに各国の日本人学校の高等部に対し行う。

補助の内容は、(A)①必要な備品の購入、②日本国内での課外活動に必要な交通費等、(B)古い生徒用顕微鏡の買換えとする。

・平成30年2月6日開催の理事会に於いて、30件(A①15件、②3件、B12件)の申請の中から、2回の選考委員会によって選ばれた7件(A①2件・②1件、B4件)、総額4,001,338円を平成29年度の高等学校助成校として承認し、各校に贈呈した。

尚、当年度の本助成の予算額は400万円であったが、予算内に収めると顕微鏡が希望台数より1台少なくなる学校が出てきた。この事務局からの報告を受け、選考委員より、予算額を上回ることはなるが、可能であれば希望台数全てを助成して欲しいという要望があり、内閣府の確認をとった上で、理事会において承認を得て、希望台数全ての助成を行った結果、助成総額は1,338円予算額を上回っている。

(助成校一覧:別表2参照)

3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第4条第1項第3号)

(1)平成29年度シンポジウム【公2】

平成29年11月19日ナチュラルヒストリーに関するシンポジウム(テーマ:空の自然史)を国立科学博物館日本館講堂において開催し、4名の講師による以下の講演を行い、参加者は104名であった。

・武田 康男(気象予報士・空の探検家)

「空という環境」

・大河内 博(早稲田大学 教授)

「都市・山・森の空を化学する」

・大村 嘉人(国立科学博物館 研究主幹)

「空から地上へ降り注ぐ地衣類の散布体」

・尾崎 清明(山階鳥類研究所 副所長)

「空を使う鳥、使わない鳥」

又、同日開催した第8回高校生ポスター研究発表では、16件(11校)の高校生によるポスター発表が行われた。16件のうち以下のとおり、最優秀賞1件、優秀賞2件を表彰した。

最優秀賞

「地球影～誰彼刻を追う～」 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校：(2年)石牟禮碧衣

優秀賞

「日本産ドブガイ族の種分化とその種の同定法」

埼玉県立松山高等学校：(2年)草野侑巳、星野直樹、(1年)熊木日向

「荒川下流の扇大橋下干潟にはゴカイがどうしてたくさんいるのか？」

東京都立江北高等学校：(2年)栗城穂乃香、岡本七海、角田正義、三森友裕、窪田貴幸、
上野来夢、宝田智也、(1年)大塚久鈴、坂本龍寿、金瀧健太郎

(2)平成29年度フォトコンテスト【他1】

第4回中学生・高校生フォトコンテストを、7月1日から9月30日までを応募期間として開催し、149件の応募があった。11月13日に、伊藤元己フォトコンテスト選考委員長の「第4回中学生・高校生フォトコンテスト選考経過報告書」をもとに、各理事並びに監事に承認伺いを電子メールにて行い、最優秀賞1名並びに優秀賞2名、佳作11名を決定した。

最優秀賞 「新しい息吹」 林 尚輝 (東京都立武蔵高等学校1年)

優秀賞 「森の精霊たち」 錦織 健(正則高等学校3年)

「自然界のハート」 吉田海羽(松戸市立小金南中学校3年)

佳 作 「夢みるものは・・・」 高橋侑希(札幌市立手稲中学校3年) 他10作品

又、一般の第9回フォトコンテストは、10月1日から11月30日までを応募期間として開催し、134件の応募があり、平成30年1月10日に、伊藤元己フォトコンテスト選考委員長の「第9回フォトコンテスト選考経過報告書」をもとに、各理事並びに監事に承認伺いを電子メールにて行い、最優秀賞1名、優秀賞2名、佳作8名を決定した。

最優秀賞 「虹色のおうち」 仲程梨枝子

優秀賞 「実らなさそうな恋」 福家悠介

「朝露」 千葉 洋

佳 作 「アメンボの捕食」 上杉裕昭 他7作品

各フォトコンテストの受賞作品及びコメントを、当財団ホームページに掲載した。

Ⅱ. 庶務の概要

① 役員会等に関する事項

(1) 理事会(総理事数9名、定足数5名)

定款第44条により、電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、理事会決議があったものとみなすこととなっております。

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果	出席人数
H29.5.16	1 平成28年度事業報告及び附属明細書承認の件 2 平成28年度収支決算書承認の件 3 出張規程承認の件 4 東京都以外のシンポジウム委員会並びに委員選任承認の件 5 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について 6 報告事項:理事長及び常務理事より、職務執行状況報告	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承	理事8、監事2
H29.6.6	1 理事長、常務理事選任の件	全会一致で承認・可決	理事8、監事1
H29.11.14(電磁会議)	1 第4回中学生・高校生フォトコンテスト受賞作品承認の件	全会一致で承認・可決	理事9、監事2
H30.1.12(電磁会議)	1 第9回フォトコンテスト受賞作品承認の件	全会一致で承認・可決	理事9、監事2
H30.2.6	1 平成29年度学術研究助成決定の件 2 平成29年度高等学校助成決定の件 3 平成30年度地方シンポジウム開催(案)承認の件 4 情報公開規程改定(案)承認の件 5 事務処理規則改定(案)承認の件 6 報告事項:理事長及び常務理事より、職務執行状況報告 追加報告:藤原基美子理事より、平成29年10月17日の内閣府公益認定委員会による立ち入り検査の報告 (その他:事務局から、来年度の事業計画等の策定にあたっての方針等の確認。)	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承 出席者全員了承 出席者全員了承	理事9、監事2
H30.3.6	1 平成30年度事業計画承認の件 2 平成30年度収支予算書承認の件 3 平成30年度学術研究助成並びに高等学校助成選考委員選任の件 4 理事候補者選任の件 (その他:事務局から、各事業に関する確認)	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承	理事7、監事1

(2) 評議員会(総評議員数10名、定足数6名)

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果	出席人数
H29.6.6	1 平成28年度事業報告並びに附属明細書報告の件 2 平成28年度収支決算書承認の件 3 理事選任の件 4 報告事項:理事長及び常務理事より、職務執行状況報告	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承	評議員7、監事1、理事8

(3) 選考委員会(学術助成)

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
H29.6.1	1 選考委員長の選出 2 応募要領及び申請書について 3 審査の方法 4 評価の方法	村上哲明氏(首都大学東京)を委員長に選出。申請案件を各選考委員によって3つの評価項目に付き4~1の評点を記し、総合評価としてA~Dの評点を記入した評価表を作成し、これらをまとめた総合評価表を基に、選考委員会に於て最終決定することを承認。
H29.12.26	平成29年度学術研究助成(非動物学)候補者選定の件	候補者として30件総額1,500万円(植物学16名841.7万円、地学14名658.3万円)を選考した。又、決定後辞退があった場合を考慮し、繰上げ候補者7名(植物学4名、地学3名)を選考した。

(4) 選考委員会(高等学校助成)

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
H29.5.25	1 選考委員長の選出 2 募集案内及び申請書について 3 審査の方法 4 評価の方法	宇田川麻由氏(筑波大学附属駒場中・高等学校教諭)を委員長に選出。事務局より助成総額と各助成金額は前年と同様だが、助成内容がA①備品・②日本国内での課外活動に必要な交通費等の補助・B生徒用の古い顕微鏡の買換え補助の3通りに変更になることが説明された。申請案件を各選考委員によって、A①と②は3つの評価項目の評点(5~1点)、総合評価(A~E)、優先順位を記入した評価表を作成、またBについては備品台帳を確認のうえ、古いもの・地域性を考慮した上で優先順位を記入した評価表を作成し、これらをまとめた総合評価表を基に最終決定することを承認。
H29.11.30	平成29年度高等学校助成候補校選定の件	候補校として7件(A①2件・②1件・B4件)総額4,000,000円を選考した。(後日、理事会で承認を受け、助成総額は4,001,338円となった。)

選考委員(学術研究助成):6名

学術分野	氏名	就任年月日	現 職	備考
植物学	村上 哲明	H29.4.1	首都大学東京 都市教養学部 教授	委員長
〃	細矢 剛	〃	国立科学博物館 植物研究部 菌類・藻類研究グループ グループ長	
〃	伊藤 元己	〃	東京大学大学院 総合文化研究科 教授 (財団理事)	
地学	津久井雅志	〃	千葉大学大学院 理学研究科 教授	
〃	遠藤 一佳	〃	東京大学大学院 理学系研究科 教授	
〃	山中 寿朗	〃	東京海洋大学 海洋資源環境学部 教授	

選考委員(高等学校助成・旧備品助成):3名

氏 名	就任年月日	現 職	備考
宇田川麻由	H29.4.1	筑波大学附属駒場中・高等学校 教諭	委員長
岩船 浩孝	〃	東京都立立川高等学校 教諭	
棚橋 由貴	〃	東京都立新宿山吹高等学校 教諭	

② 職員に関する事項

(平成30年3月末日現在)

職名	常勤・非常勤	氏名	採用年月日	担当事務	備考
職員	常勤	藤原 基美子	S55.9.28	事務局長	
職員	常勤	井石(宮澤)亜紀	H27.4.1	一般事務	

③ 許可、認可、承認、証明等に関する事項

該当なし

④ 契約に関する事項

該当なし

⑤ 寄付金に関する事項

該当なし

⑥ 内閣府公益法人(行政担当)への届出

提出年月日	届出内容
H29.6.28	平成28年度 事業報告等
H29.6.30	変更の届出(理事任期満了による改選の登記・代表理事変更の登記)
H30.3.26	平成30年度 事業計画書等

*H29.10.17 内閣府による公益認定法第27条第1項に基づく立入検査の実施

<附属明細書の作成について>

上記の事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので附属明細書は作成していません。

平成29年度(第26回)学術研究助成 助成者一覧

[植物学] 16名 841.7万円

NO	氏名	研究課題	助成金
1	赤井 賢成	沖縄県のサトウキビ畑の深層土壌に眠る絶滅危惧水生・湿生植物の復元生物学的研究	44.3万円
2	海老原 淳	日本産シダ植物に関する分類学的一次資料の網羅的再検討とポータル整備	64.8万円
3	及川 真平	寄生性植物ネナシカズラの嗜好性:ジェネラリストか,スペシャリストか?	46万円
4	香川 聡	年輪の酸素安定同位体比を用いた自然史研究	51万円
5	篠原 渉	屋久島の高山性ミニチュア植物はどこから来たのか?—分子系統地理学的解析に基づくの祖先集団の評価—	51万円
6	須貝 杏子	小笠原諸島の在来植生における埋土種子の種構成の解明	70.8万円
7	杉田 典正	植物標本からの非破壊的DNA抽出法の開発	46万円
8	鈴木 三男	西別湿原にヤチカンバはいつから生えていたのか?	51万円
9	東馬 哲雄	屋久島固有種シマコウヤボウキ(キク科)の形態的特徴と開花タイミングの解明	51万円
10	等々力 政彦	世界最南限のハイマツの分布状況と、遺伝学的モニタリング	46万円
11	広瀬 大	マツ科と菌根共生するヌメリイグチ属の本邦における種多様性と系統地理学的パターン	51万円
12	細 将貴	伊豆諸島の植物群における対草食獣被食防衛形質の平行的退化	70.8万円
13	牧田 直樹	樹木根系における種の識別法の確立:生物多様性の役割の解明を目指して	41万円
14	渡邊 謙太	ハワイ諸島産ボチョウジ属植物の性表現と花形態の進化を引き起こした送粉者の解明	51万円
15	樋口 裕美子	イヌヤマハッカ変種群の葉形進化における葉を巻く植食性昆虫ムツモンオトシブミの影響	60万円
16	福富 純一郎	広域的視点に基づくリュウノウギク、ナカガワノギクの自生地と地質の関係について	46万円

[地学] 14名 658.3万円

NO	氏名	研究課題	助成金
1	泉 賢太郎	豊浦層群及び来馬層群に記録されたジュラ紀前期温暖化時の海洋酸化還元状態の復元	48万円
2	木村 由莉	沖縄県の海洋島洞窟から発見された食虫性コウモリ亜化石の絶滅タイミングと飛来起源	48万円
3	高柳 栄子	現生腕足動物殻の微量金属元素に関する基礎的研究	48万円
4	竹田 裕介	紫外線蛍光イメージングで迫る化石頭足類軟体部の解剖組織学	48万円
5	田中 嘉寛	大阪平野の地下から発見されたクジラ化石からさぐるー完新世の日本列島周辺のクジラ相ー	35万円
6	田村 糸子	日本列島300万年の地殻変動史の復元ー大規模火砕流堆積物を手がかりとしてー	48万円
7	對比地 孝亘	恐竜類の尾部骨格にあるとされる水生適応形質の再検討	48万円
8	筒井(石川)牧子	化石および現生貝類を用いた貝殻色素の局在に関する組織学的研究	48万円
9	中村 由克	岩石鑑定による北陸産縄文時代磨製石斧の流通範囲の解明	40万円
10	西岡 佑一郎	中新世の日本海拡大に伴った哺乳動物の種分化プロセス	48万円
11	林 広樹	伊豆「衝突帯」から「沈み込み帯」への進化過程のスナップショット:平山ー松田北断層帯の意義の解明	40万円
12	丸山 啓志	なぜマイルカ上科は、中新世から現在にかけて左右非対称な頭骨になったのか	48万円
13	LEGRAND Julien	日本の中生代古植生の解明と花粉層序の確立に向けた古花粉学的研究	55.1万円
14	楠 稚枝	三浦半島の三浦層群と上総層群における時計回り回転運動の古地磁気学的探究	56.2万円

平成29年度（第26回） 高等学校助成 助成校一覧表

【A① 必要な備品の購入】

NO	氏名・学校名	生徒数	品名
1	山本 剛 (46才) 学校法人福島成蹊学園福島成蹊高等学校 全日制課程	1年 200名 2年 200名 3年 200名	1.オートクレーブ トミ精工 LBS-245 : 1台 422,280円
		クラブ活動その他10名	合計 422,280円
2	須藤 大智 (27才) 香川県立小豆島中央高等学校 全日制・定時制課程	1年 166名 2年 194名 3年 186名 定時制 26名	1.ノートパソコン dynabook PT75EGP-BJA2 : 1台 155,540円
		クラブ活動その他6名	2.コンパクトデジタルカメラ CANON PowerShot SX720 HS : 1個 30,479円
			合計 186,019円
A① 合計			608,299円

【A② 日本国内での課外活動に必要な交通費等】

NO	氏名・学校名	生徒数	品名
1	松本 誠司 (38才) 兵庫県立東灘高等学校 全日制課程	高校1～3年生 3名 (H30年度20名) (顧問 2名) (共同企画者 1名)	1.自然科学部の活動用交通費の一部 300,000円
		合計 300,000円	
A② 合計			300,000円

【B 古い生徒用顕微鏡の買換え】

NO	氏名・学校名	生徒数	品名
1	小川 隆之 (61才) 三重県立松阪商業高等学校 全日制課程	1年 200名 2年 200名 3年 200名	1.生物顕微鏡 JLS-600-CN (ケニス) 1-149-946 : 12台 440,640円 (1台36720円)
		クラブ活動その他 名	合計 440,640円
2	高田 将寛 (28才) 北海道標津高等学校 全日制課程	1年 62名 2年 63名 3年 66名	1.生物顕微鏡 40×～600× (ニコン) YS100LED-2K : 11台 999,999円
		クラブ活動その他 名	合計 999,999円
3	札木 理 (34才) 大阪府立島本高等学校 全日制課程	1年 0名 2年 206名 3年 64名	1.生物顕微鏡 (ケニス) FK-600S-CN : 27台 864,000円
		クラブ活動その他 名	合計 864,000円
4	神野 直子 (45才) 兵庫県立西宮今津高等学校 全日制課程	1年 0名 2年 241名 3年 60名	1.生物顕微鏡 (ケニス) NJL-600 : 20台 788,400円 (1台39420円)
		クラブ活動その他 名	合計 788,400円
B 合計			3,093,039円

総合計	4,001,338円
助成金超過額	1,338円